

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
株式取引演習 stock trading practice □		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅠ・Ⅱ、金融と証券Ⅰ・Ⅱ、商法、税法Ⅰ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅡ、金融と証券Ⅱ、商法、税法Ⅱ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12:10~13:00		授業中に指示します
授業の概要				
株式投資に関する理論とその具体的な方法を学習する。受講生は、それぞれの投資グループに所属し、その中で他のメンバーと議論を重ねながらグループとしての株式銘柄を選定し、他の投資グループと投資パフォーマンスを競い合う。株式投資においては「投資情報」が重要であるので受講生は、授業以外でも新聞やTV、雑誌などの株式に関するニュースに触れることが必要である。受講生は、自分の財産の蓄財のために学ぶという意識を持ってほしい。				
授業の目標				
①株式投資の方法や理論を理解して、バーチャルな株式市場で株式投資ができるようにする。 ②金融商品としての株式投資の優位性と危険性を説明できるようにする。 ③投資戦略に基づき株式の個別銘柄を選択できるようにする。 ④株式取引に関する初歩的な時事問題を解説できるようにする。				
授業の方法				
基本的に演習方式である。野村証券のバーチャルトレードにおいて株取引の演習を行う。株式取引のDVDなどの映像も使用して理解を深めたい。				
学習の成果(学習成果)				
バーチャルな株式市場での投資活動を通して、株式投資に関する知識や技術を修得し、家計の貯蓄活動における株式投資の意義と、その優位性と危険性を認識しながら株式の個別銘柄を選択することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	株式投資の基礎①(株式投資の心構え、株式投資のメリット)			
第3回目	株式投資の基礎②(証券取引所、上場企業と非上場企業、立会時間、証券会社)			
第4回目	株価は何故変動するのか(株価とは、金利と株価、為替と株価、国際経済と株価、自然現象と株価)			
第5回目	株式の売買を始めよう(株式売買の手続き、初めての銘柄選び)			
第6回目	株式情報の収集①(株式売買の情報源、新聞の株式欄)			

第7回目	株式情報の収集②（会社四季報、インターネット、株式関連雑誌）	
第8回目	株式情報の分析（総論） 小テスト	
第9回目	ファンダメンタル分析①（EPS、BPS、配当利回り、配当性向）	
第10回目	ファンダメンタル分析②（PER、ROE、PBR）	
第11回目	テクニカル分析①（株価罫線、ろうそく足）	
第12回目	テクニカル分析②（出来高、移動平均線）	
第13回目	代表的な株式銘柄	
第14回目	投資グループ別、株式投資パフォーマンスの発表	
第15回目	まとめと講義の振り返り（授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	授業に積極的に参加して、授業で分からない点があれば進んで質問する。株式銘柄に選定などの投資グループでの議論には、積極的な姿勢で参加し自分の意見を述べること。
レポート	10%	株式取引に関するDVDを鑑賞した後、その内容をテーマに添って論理的一貫性を以て記述すること。
調査報告書		
小テスト	10%	出題された5つの基本的な専門用語を、1問300字以内にその要点を纏めて記述すること。
試験		
発表内容（態度含む）	70%	投資戦略の目的を明確に捉え、所属する投資グループの投資パフォーマンスの目標数値と実質数値の差が20%以内であること。
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。必要になった場合、そのつど資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
授業中の私語は禁止する。また、原則的に欠席・遅刻は禁止する。甚だしい時は減点の対象とする。		